



いたやなぎ 町議会だより

令和4年
9月定例会

第35号
2022. 11. 11

主な内容

- 7人が一般質問 P 2～8
- 常任委員会審査 P 9
- 決算特別委員会 P 10～11
- 一目で分かる審議結果 他 P 12～13
- 視察研修 他 裏表紙

令和4年3月からつがる市でラーメン店を営む松橋さんに夢を語っていただきました。

コロナ禍で人と人の繋がりが少なくなっている中でも、おいしいと言われてもらえるラーメンを作って、誰かを喜ばせる人になりたい。人と人の繋がりを大事にしたいと話してくれました。そんな想いが店名の由来にもなっているそうです。

板柳町の夢追人！

～ラーメンで人繋ぎ～

五林平在住の松橋 徹さん

町民の声を町政に

第11回定例会一般質問

第11回板柳町議会定例会が9月5日から14日までの日程で開催されました。9月8日に行われた「一般質問」に、7名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、1人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。



工藤 貢

岩木川増水による被災農家への対応と町民の避難指示について

問 園地の復旧支援や生活支援など、町独自の支援策の取組状況は。

答 (成田町長) 消防団員や町職員、建設業組合、ボランティアの方の協力により、災害園地の復旧作業などを行っている。また、被災農家に対して、生活支援金として被害面積10アール当たり1万円、農業等購入費支援金として被害面積10アール当たり5万円を支援するほか、町税や保険料の減免措置など、町独自の支援策を講じている。

問 今回の災害は、国、県、関係機関との連携した支援が必要となる。今後の対応は。

答 (成田町長) 町ができるものについては随時農家の支援対策を

講じている。町単独では限界があるので、国、県に対して被災農家の支援について要望している。

問 避難所の利用状況は。

答 (成田町長) 全町に7か所の避難所を開設した。8月10日午前零時の時点で610人の方が避難された。

問 園地の復旧作業を手伝う災害ボランティアを募集して対応しているが、その状況は。

答 (大井総務課長) 町内の在住者だけでなく、遠くは三沢方面、それから団体のほうからも参加いただき、30名ほどのボランティアにお手伝いいただいた。作業内容は災害ごみの運搬や分別である。

2年連続で過去最高を更新した「ふるさと納税」について

問 令和3年度の寄付額は当町で1億7千5百万円の実績を上げ、県内の30町村では第5位で、前年度より2倍以上の大幅な伸びとなり、返礼品の魅力が高まったことなどが寄付の増

加につながっていると思うが、今年度の返礼品の状況は。また、板柳町民が他の市町村にふるさと納税した人数と寄附額は。

答 (成田町長) 現在のところ昨年度より1業者増えて、11業者が協力することになっている。返礼品の中心は町特産のりんごになるが、今年度はふじ、王林に加えて、新たにぐんま名月やシナノスイートの品種を増やしている。板柳町民が他の市町村にふるさと納税をした人数は133名で寄附額は672万9,800円である。

マイナンバーカードの取得について

問 今回の取得キャンペーンの内容と期間の目標取得率は。

答 (成田町長) 町では、8月と9月をマイナンバーカードの強化期間とし、第1・第3土曜日と第2・第4日曜日にマイナンバーカードの窓口を開いている。このほか、平日や日中に来庁できない方には毎週水曜日午後7時ま

で時間を延長して対応している。期間中は役場職員による申請サポートのほか、オンラインシステムを導入した申請受付も行っており、パソコン画面上でオペレーターと対話しながらマイナンバーカードの申請のほか、マイナンバー付与の手続きができる端末を町民生活課前の特設コーナーに設置している。また、出張申請受付も実施し、町内の事業所や団体等を対象に職員が出向いて申請サポートを行っている。さらに、取得された方の先着7,000名様に町商工会の商品券5,000円分を差し上げている。そのほか、国では9月末までにマイナンバーカードの申請をされた方に最大2万円ポイントがもらえるマイナンバーポイント第2弾を実施している。目標取得率について、国では今年度末までに全国民にマイナンバーカードを普及させることを目指しており、当町も国の方針に沿って動いているところである。今回のキャンペーンで50%以上の交付率を目標にしている。



今 浩一

ふるさとセンター
バーベキュー施設について

問 令政会および無所属議員は当初より、元の場所付近へ早期建設を要望している。町では元の場所は危険施設があると言う理由で拒んでいるが、行政として具体的に法的基準を基に説明を求める。

答 (成田町長) 温泉の源泉から発生する可燃性ガスを処理する設備が設けられ、現行の温泉法の設置基準に基づき整備し管理している。また、キュービクル式高圧受電設備もあり、こちらは火災予防条例に基づき、建築物からの距離を保って設置しているほか、電気事業法に基づき、外部の電気主任技術者へ保安点検を委託し、管理している。

問 町では現在あるキュービクル及び青柳館温泉排ガス噴出管を危険施設と言っているが。

答 (成田町長) 現行の法律では安全が確保、整備されている。

問 また新しい案が示され、建設するためにりんご畑を購入し、建設するといった案である。この場所は、町長の公約であるアクセス道路計画で、5万人の集客増を見越し、来客用駐車スペースにすると計画した場所では。

答 (成田町長) 今そういった計画は具体的にはない。現状では今の駐車場で十分対応できると考えている。

問 アクセス道路の計画は一度白紙に戻したと捉えてよいか。

答 (成田町長) 白紙とは考えていない。

問 白紙でないのであれば、駐車場を今のままで間に合うと、どのように検討したのか。

答 (成田町長) 何回も担当課と我々と協議しながら進めている。

問 ただいま町長が言ったこの駐車場スペース、担当課と検討したと言ったこの検討資料の提出を本議会中に求めます。

答 (佐藤議長) 議会終了後でも、町のほうに申し入れたい。

問 資料を出してくださいと言われても、そういう具体的な資料はありません。

答 (成田町長) 検討会議の場に議会代表者を数名加えたほうが、早期建設に結びつくと思うが。

問 その趣旨、ちょっと見えてきませんので、明快に返答はできませんか。

町の基金(貯金)について

問 令和3年度決算時における当町の基金は総額40億2,102万4千円となっている。区分を設けて積立している理由と目的は。

答 (成田町長) 町の事業は多岐にわたるので、分類したほうが積立の目的が見え、分かりやすいと考えている。

問 3月議会の一般質問で、公正会議員の小学校統合にその財源の基金はいくらかという質問に町長は基金総額34億円であると答弁したが、学校施設整備基金は2億3,716万9,000円となっている。町民の誤解を招くことになるので、訂正してはいいかがか。

答 (成田町長) 私の間違いであり、訂正させていただきます。

問 今回の補正予算には学校施設整備基金積立金とスポーツ振興基金積立金が計上されている。議案説明会で予算が余ったからと説明を受けたが、ほかに予算要求はなかったのか。

答 (成田町長) この基金の積立では企画財政課長といる内容聞きながら行っている。

アフターコロナ・ウィズコロナについて

問 アフターコロナ・ウィズコロナに対しては、特に考えが無いという事で、当初予算編成に考慮されず、補正予算で対応して行く考えを3月議会で伺った。現

在の考えを伺う。
答 (成田町長) 引き続き感染状況を注視しながら対応してまいりたい。

災害時における町の指揮体制について

問 災害時において、町民の命・安全を守るべき町としての行動は、どのような指揮体制で、どの様に行われているのか伺う。

答 (成田町長) 町長を本部長に災害対策本部を設置し、総務課を中心に全職員で対応に当たっている。今回の災害を教訓に、日頃から町民の防災意識を高め、町全体の防災力向上に努めてまいりたい。

問 今回の対応についての検証を行ったのか、伺う。
答 (大井総務課長) 今、職員同士で意見を出し合いながら、まとめていく最中である。



長内良蔵

2026国スポ(国民体育大会)について

問 当町ではどんな種目が開催されるのか。

(成田町長)

答 子どもからお年寄りまで幅広く参加できるデモンストレーションスポーツとして、ウォーキングとふれあいゲートボールが開催されることになっている。

問 町民の方がおもてなしを含め、いろんな形で関係ができれば、非常にいいイベントになると思いますがいかがか。

(成田町長)

答 全国からいろんな方が参加し、板柳町をPR、あるいは板柳町のいい状況、いい雰囲気を表すチャンスだと思う。どういったPRやおもてなしの方法があるか、これから検討していきたい。

閉校予定の県立板柳高校について

問 進捗状況について、状況を伺う。

(成田町長)

答 板柳高校の活用について、副町長を座長とする板柳町立小学校・板柳高等学校利活用庁内検討会議より7月に報告を受けた。さらに、町民から広く意見を吸い上げ、利活用計画に反映させるため、アンケート調査を行い、現在集計作業を行っている。今後は有識者による検討委員会を開催し、町としての方針を定め、県と協議してまいりたい。

問 新聞に、木造高校深浦校舎の建物が町教育委員会が活用を検討というところで、県の教育委員会が町に無償譲渡が可能と出ている。県立板柳高校の閉校後の話は少しでも進んでいるのか。町民に発信するだけの進展があったか。

(大井総務課長)

答 現在町民2,000人を対象にアンケート調査を実施し、集計中である。その後、有識者による検討委員会を予定している。

当町から登録されたりんご新品种の「明秋」「虹明け」について

問 今後の方向性、PRの進め方や販路等の考え方について伺う。

(成田町長)

答 明秋と虹明けは共に板柳町りんご新品种育成研究会の櫻庭会長さんが育成し、登録された新品种であり、今後の普及拡大に期待しているところである。袋かけや反射シートがなくても着色がよく、保存性にも優れていると伺っており、農作業の省力化や人手不足解消にも期待ができると考えている。今後町では、ふるさとセンターのりんご見本園に明秋に続いて虹明けを植栽し、町内外の方に広くPR、宣伝してまいりたいと考えている。また、りんごワークの販売ルートに乗せることができないかどうか調査検討をさせるとともに、町の各種イベントや催事において新品种の情報発信に努めてまいりたい。

町の虫「マメコバチ」について

問 りんご受粉に活躍している「マメコバチ」の存在がかなり薄れていると思うが、どのように考えているか。

(成田町長)

答 町では、毎年マメコバチ感謝祭を開催し、マメコバチの受粉作業の普及に努めているが、生産者の高齢化に伴い、マメコバチの増殖や巣箱の管理が十分でない農家が増えている。近年は人工受粉を重視する生産者も増えている。しかし、りんごの安定生産と農作業の省力化にはマメコバチによる受粉作業は欠かすことができないものと考えている。今後は関係機関、関係団体と連携しながら、マメコバチの増殖、巣箱の管理の必要性を生産者の皆様に周知徹底していきたい。



議会を傍聴しませんか

次の定例会は12月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

月日	内	容
12月5日(月)	本会議	特別委員会の報告等、提案理由の説明
12月7日(水)	本会議	一般質問
12月8日(木)	常任委員会	総務産業厚生・福祉建設文教
12月9日(金)	本会議	委員長報告等、質疑・討論・採決

※開催予定時間はいずれも午前10時です。

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。ただし傍聴する際は、マスクの着用をお願いします。また、発熱等の症状がみられる方はお断りする場合があります。





鈴木清孝

河川の防災対策について

問 去る8月3日と9日の集中豪雨により岩木川が氾濫危険水位まで上昇し、町全体に避難勧告指示が発令された。今後も自然災害の多発が見込まれる中、岩木川堤防のかさ上げ整備についての見込みについて伺う。

答 (成田町長) 青森河川国道事務所にて確認し、岡本地区については計画堤防の高さが確保されているとのことである。ただし、地域の皆様のご理解とご協力をいただければ、今後検討していきたいと伺っている。小幡地区については、現在進めている鶴田地区河川改修事業において、今年度中に工事を着手する予定と伺っている。町民の生命と財産を守るため、治水事業の整備促進につい

ては流域市町村で構成する同盟会等を通じて、要望活動を行っていきたい。

問 小幡地区の部分は鶴田の部分のように護岸をコンクリートで固めた形になるのか。

答 (葛西地域整備課長) 小幡地区の築堤は土堤防となる。鶴田町は住居が近いという理由もあり、そういった構造になっている。

問 避難勧告が出て、今回の反省事項もあるかと思う。この防災対策について、より一層強くやっていかなければいけないと思うがいかがか。

答 (成田町長) 現在の地域防災計画が現状に合っているのかどうか、いま一度点検させたい。また、日頃から町民の方々の防災意識を高める意味で、今年度は全町を対象にした防災訓練、避難訓練を予定している。今後、それ以降も他の市町村を参考にしながら、検討・調整していきたい。

飯田地区から要望がなされた河川敷の移動改植について

問 三村県知事は浸水被害を受けた河川敷のりんご園から別の場所に移動改植を希望する農家に対して、国の事業が活用できるとして、国に優先採択を働きかける旨が報道されたが、町長の見解を伺う。

答 (成田町長) 8月25日、県町村会では三村県知事に緊急要望をした。その項目の中に飯田地区からの河川敷の園地の早期買上げを加え、それに対する県知事の回答である。また、9月2日、弘前圏域8市町村が県選出の国会議員へ緊急要望をした際も、国の改植事業を活用して対応してほしいとの回答であった。このため、9月4日の農林水産大臣への緊急要望では、河川敷のりんご園地の農家の皆さんが安心してりんご栽培が継続できるように、別の場所に移動を希望する農家に対しては国の改植事業の内容をさらに充実させ、優先的に採択していただくようお願いをしている。今後も被災された農家に対し、国の事業を優先的に対応してもらえようように県と連携しながら進めてまいりたい。

第6次板柳町長期振興計画について

問 基本構想、基本計画についてはよくまとまっているが、肝心の実施計画については含まれていない。令和3年度から令和12年度を計画期間とするならば、前期の4〜5年間の実施すべき計画を示す必要があると考えるが。

答 (成田町長) 当町では、教育、介護、福祉など各部門においてはそれぞれ具体的な計画を策定しているほか、毎年の予算編成方針などがこれに当たると考えている。また、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を第6次長期振興計画の目標や施策を押し進める具体的な取組として戦略プロジェクトと位置づけ、この総合戦略も事実上の実施計画の意味合いを持つと考えている。

問 弘前市では毎年1年ごとにチェック、点検し、計画の達成度などを全て公表している。やはり向こう4年、5年先までの実施計

画というのをきちんとして、議会に説明し、町民の皆さんにも公表して行っていくべきだと思いが、いかがか。

答 (成田町長) まちづくりにおいてこの計画の位置づけ、性格、今後どういった形の計画がいいのか、いま一度調査してみたいと考えている。

小中学生のキャリア教育の充実について

問 今後も更に充実した取り組みが必要と考えるが、教育長の意欲を伺う。

答 (永澤教育長) 様々な夢や目標を持って現実の実社会で頑張っている人たちの出会い、触れ合い、そしていろいろな話を聞いて、職業に対する関心、将来の自分の生き方に対する前向きに考える心を育みたいと思ひ、計画した。これから子どもたちが成長していくときに大変力になっていく事業だと考えているので、今後とも工夫、改善を加えながら、より充実した取組を展開していきたい。



佐藤 文俊

岩木川増水による河川沿い
りんご園地の被害に対する
町の対応状況について

問

総務産業厚生常任委員
会では、8月4日朝に
被害園地の視察を実施し、
その際に届いた生産者から
の多くの声の中から緊急性
のある事項をまとめ、町へ
早急な対応の要望書を提出
しているが、その内容も含
め復旧に向けた町の対応状
況を伺う。

答

(成田町長)
1点目の園地の排水対
策について、8月3日のと
きは4台の水中ポンプと自
然排水で、同5日の夕方に
は排水作業が完了している。
8月9日のときには、管理
用通路の一部が決壊し、水
中ポンプによる排水作業が
できなくなったが、その決
壊箇所から水が排出され、
8月13日の夕方までにはほ

ぼ排水が完了している。

2点目の園地に堆積した
ごみの処理について、8月
9日から板柳地区と飯田地
区にそれぞれ3か所ずつ、
臨時の災害ごみの集積場を
設置して対応している。

3点目の収入保険や共済
保険の支払いについて、8
月5日、農業共済組合に要
望書を持参し、早期の支払
いをお願いしている。また、
国に対しては弘前圏域8市
町村から、県に対しては県
町村会から、それぞれ要望
活動を行っている。

4点目の次期作に向けて
の経済対策では、被災農家
に対して生活支援金を10
アール当たり1万円、農業
等購入費支援金を10アール
当たり5万円を支援するほ
か、町税や保険料の減免措
置など、町独自の支援策を
講じている。

問

りんご栽培の被災者に
とっての最重要課題は
これからの生活費の確保だ
と思う。収入保険や共済の
できるだけ早い支給と併せ、
できるだけ借りやすい状況
をつくり、返すときの無利
子、もしくは利子補給等、
そういう制度は考えているか。

答

(小枝産業振興課長)
これから何かしらの形
で貸付金、そういった制度
は当然公表されると推測は
される。そうなった場合、
利子補給などは取り組むべ
きと考える。町そのものが
貸付金を行うという制度で
はないが、取り組みたいと
考えている。

問

自分の栽培園地から出
た被災りんごや病気の
りんごは産業廃棄物なのか、
一般廃棄物なのか。

答

(長尾町民生課長)
一般廃棄物である。

問

例えば今回のように大
量に廃棄する場合、一
般廃棄物であれば町が委託
した収集業者に出すことは
可能か。

答

(長尾町民生課長)
通常はできないことにな
っている。

問

一般廃棄物を産業廃棄
物の取扱い業者に出す
ことは可能か。

答

(長尾町民生課長)
通常は違法となる。た
だし、災害時には業者の届
出により可能となる。

問

弘前環境整備事務組合
の処理場で、含水量の
多い果物、りんごなどに

いては、1日の処理できる
能力はどのくらいか。

答

(長尾町民生課長)
1日当たり2トンから
3トンと聞いている。

問

私は弘前や藤崎の園地
で、被災したりんごを
園地内に埋めている光景を
幾度となく見ているが、複
数の生産者から、町の産業
関係の課から埋めれば本当
は駄目だという話を聞いた
と私にきている。これは何
法によって違法なのか。

答

(大井総務課長)
県に確認したところ、
何法というのは聞かなかつ
たが、埋めたら駄目ですと
回答をいただいている。

問

何法で駄目なら駄目、
そうしていただきたい。
被災者の心配や混乱を増長
させないように、みんな一
致団結してやっている姿を
ぞ、生産者に対する町の真
摯な気持ちだと思いがいか
か。

答

(成田町長)
担当課のほうに調べさ
せて、そして生産者の皆さ
んによからぬ不安を与えな
いように努めていく。

新型コロナウイルス感染症
に係る国保支援について

問

新型コロナウイルス感
染症に係る国民健康保
険傷病手当金について、支
給要件及び令和2年1月1
日からの適用期間中に支給
を受けた件数をお知らせ頂
きたい。

答

(成田町長)
対象者は国民健康保険
の被保険者で、新型コロナ
ウイルス感染症に感染また
は発熱等の症状があり、感
染が疑われ、その療養のた
め会社等を休み、給与等の
支払いを受けられなかった
方となっている。支給日数
は、療養開始から4日目以
降の療養終了日までの就労
予定数となっており、1日
当たりの支給額については、
直近3か月間の平均給与日
額の3分の2で、3万88
7円が上限となっている。
適用期間は令和4年9月30
日までで、支給件数は令和
3年度、令和4年度がそれ
ぞれ2件ずつである。

問

傷病手当の財源はどこか。

答

(芦田健康推進課長)
財源は国である。



松森 俊逸

8月の豪雨被害について

問 被災者の救済措置はどのようなものか。

(成田町長)

答 被災農家に対して生活支援金を10アール当たり1万円、農業等購入費支援金を10アール当たり5万円支援する。

問 合計で7,338万円を支援するわけで170世帯で割れば、生活支援金は7万1,941円、農業等購入支援金35万9,706円となるが、妥当と考えるか。

(成田町長)

答 今回こういう対応ということがある。

問 介護保険利用者負担の減免は本災害に向けた制度なのか。

(村上介護福祉課長)
元々あった制度である。

問 水道料金の減額の対象を8月、9月とした理由は。受付期間が9月26日から5日間とは短過ぎるのではないか。

(大場上下水道課長)

答 8月3日から1週間前後、枯葉の清掃等をしたのではと、8月、9月分を対象とした。9月分の下水道料金が9月20日ぐらいに正確なものが分かるので、1週間設定した。

ふるさとセンターバーベキュー施設整備について

問 バーベキュー施設の整備についていかが考えているのか。

(成田町長)

答 本館向かいのりんご園地に整備する案を取りまともている。

問 8月18日に議員全員協議会で説明しただけで、意見集約もなく、翌日議案として配付された。こういう独善的な手法というのは、議会を軽視していると思う。3,709平米のりんご園、928万円で購入できる根拠は。

(成田町長)

答 過去のふるさとセンター

拡大計画のときの事例を参考にした。

問 いつのことか。

(成田町長)

答 とれたて市が最新であり、そのときの価格と聞いている。

問 平成5年の価格を採用するのは不誠実でないか。消防署の用地買収は坪単価3万円。今回の3,709平米はいくらになるか。

(山口企画財政課長)

答 3,370万円になった。地権者と協議しているのか。

問 (八木橋ふるさとセンター)所長 事前に交渉はしていない。

板柳高校跡地利用について

問 板柳高校閉校に伴う利用をどのようにするのか。

(成田町長)

答 有識者による検討会を開催し、方針を定めたい。

問 板柳の跡地アンケートの6番と7番は別ける必要があるのか。

(大井総務課長)

答 6番はイメージ的に質問、7番は具体的に施設名

を表しているものである。

問 全くナンセンスだ。なぜこの選択肢の中に統合小学校と入れなかったのか。

(大井総務課長)

答 町の方針は板柳中学校の敷地内に統合小学校を建設するという方向で進んでいる。

五能線の存廃問題について

問 国交省は輸送密度の低い鉄道の存廃について3年以内に結論付けるとの報道がなされたが、いかが考えるか。

(成田町長)

答 動きがあれば関係市町村と連携し、対応してまいりたい。

最低制限価格について

問 最低制限価格を設定する意義をいかが考えるか。

(成田町長)

答 ダンピング受注は工事の手抜きや下請業者へのしわ寄せなどにつながり得ることから、設定は必要である。

問 ダンピング防止が主たる原因だということだ。表してもいいのではないか。

見積もり単価はブラックボックスになっていく。板柳中央病院の防水工事、特殊工事で物価版に単価が載っていないのに、ぴったり決めて取る。どう思うか。

(成田町長)

答 適切に入札業務は執行したと考えている。

りんごワーク研究所の決算報告書について

問 健全化計画の効果はどのように現れているのか。

(成田町長)

答 令和3年度の事業活動収支差引額は1,260万2,000円との報告を受けている。

学校部活動の地域移行について

問 文科省は部活動の地域移行を来年度から3か年で集中改革するとしているが、教育委員会はいかが考えるか。

(永澤教育長)

答 部活動が持続可能な取組ができるよう対応を検討していきたいと考えている。



次期町長選挙への決意について

成田 肇

問 平成27年4月の町長選挙で初当選を果たし、高校生までの子ども医療費の無料化、子育て世代の定住対策や学童保育の時間延長など、安心して子育てができる環境づくりに積極的に取り組んでいる。様々な施策を積極的に進めているが、当町においては様々な課題が山積みしている。課題を乗り越え、板柳町を安心して任せられるのは成田誠氏をおいてほかにいないと考える。引き続き町政運営の統投を心から望むものである。ぜひとも次期町長選挙に出馬していただきたいが決意のほどを伺う。

答

(成田町長)

1期目の町長就任時より「より豊かな、より快適な、より元気な、りんごの里板

柳」を目指し、公約の実現に向けて、議員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、全身全霊を傾けて町政運営に取り組んできたところである。未来を担う子どもたちによりよい教育環境を整備するため、統合小学校の取組を進めているほか、町の歴史を確実に後世に伝えていくため、町史編さん事業を44年ぶりに着手した。また、板柳町の新たなまちづくりの指針となる第6次板柳町長期振興計画を策定し、板柳町のさらなる発展に向けて、町政運営に鋭意取り組んでいるところである。若い世代が定住し、安心して子育てができる環境づくりをはじめ、市民の健康づくりや快適に暮らせる生活環境の整備、さらには医療と介護、福祉の連携を図り、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めてきた。一方で、当町においては人口減少や少子高齢化の進展に加え、新型コロナウイルス感染症という、これまで経験したことのない困難な課題に直面している。また、今回の記録的な

大雨により、岩木川の増水で被害を受けられた農家の皆様の一日も早い復旧が求められている。こうした課題に迅速に対応するため、来年の任期まで与えられた職責をしっかりと果たしていくことが第一と考えている。次期町長選挙については今後、後援会やこれまで支えてくれた方々にご相談を申し上げ、ご意見をいただきながら決めてまいりたい。



岩木川飯田地区周辺

大雨被災地を現地視察（8月）

町に要望しました！

板柳町議会では、令和4年8月3日と9日の大雨による被害状況を把握するため、8月4日には総務産業厚生常任委員会委員、8月12日には議員全員を対象に氾濫危険水位に達した岩木川や被災したりんご園地を現地視察しました。悲惨な状況を受け、すぐに会議を開催し集約した内容を同日、町に対して要望書として提出しました。

8月4日の要望内容（総務産業厚生常任委員会委員長名で町長へ提出）

1. 冠水した園地の排水及び圃園殺菌消毒のため、仮設ポンプの設置等を含む対策を早急に講じていただきたい。
2. 園地に堆積しているゴミの処理について、対策を講じていただきたい。
3. 収入保険や共済保険について、できるだけ早期に給付されるよう対策を講じていただきたい。
4. 来年から再生産できる経済対策を、早期に講じていただきたい。

8月12日の要望内容（板柳町議会議長名で町長へ提出）

1. 岩木川流域において、下流側の堤防の早期完成及び上流側の強化を国交省に要望していただきたい。
2. 防災計画を元に、訓練を行い、災害時に向けてしっかりとした準備をしていただきたい。

任 員 会 査 常 委 員 会 審 査

総務産業厚生 常任委員会

■スポーツ振興基金積立金

◎3,000万円を基金にするようだが、特別な目的があるのか。

①足りなくなることを見越しての積立てである。

■スマート農業用アンテナ
基地局設置負担金

◎スマート農業用アンテナ基地は。

①予定しているのが長野地区である。そこを基本にすると、アンテナ1基で板柳全域がカバーできるといって予定になっている。

■税金の滞納

◎町民税、固定資産税、それから軽自動車税、大体何人ぐらいか。

①過年度滞納繰越と現年度

滞納繰越がある。一般会計分の合計は全部で458名、国保会計に関しては309名である。

◎どういふ具合に催促しているのか。

①その人のケースによって対応を変えている。徴収猶予という形で受け付け、期間を延ばすという方法、どうしても払わない方は滞納整理機構のほうに移管して、徴収してもらう形がある。

■青柳館清掃業務委託料

◎委託料の780万円は、どのような体制か。

①常勤で、常に朝から晩まで必ず1人が常駐し、温泉のほうを清掃している。また夜間、9時になれば、さらに3人が来て、11時半まで風呂の掃除をしている。

◆要望意見

8月3日及び8月9日の大雨災害により、りんご生産に甚大な被害が出ております。国、県においても、来年のりんご生産に向けて、大きな補助を予定しているとの情報も聞こえております。つきましては、これから創設される補助のかさ

げや、町独自の支援など、次年度の再生産につながる更なる支援策を講じていただけるよう、ここに要望いたします。

福祉建設文教 常任委員会

■マイナンバーカード

◎現在の交付率はどのぐらいか。

①8月末現在で交付者数4,329人分交付され、33.3%の交付率である。

◎マイナンバーカードでできることは。

①公的な証明になる。また、利用できる医療機関は限られているが、健康保険証として利用できる。

◎各出張の受付もしますと回覧が回っているが、実績は。

①事業所や団体からの申込みが4件来ている。

■町の最終処分場

◎現在はまだまだ大丈夫なのか。

①現在のところは、あと6年くらい大丈夫と聞いている。

◎その後の将来的な展望は考えているか。

①その後については、これから理事者とも相談しながらの対応になる。



■東北・全国スポーツ大会

◎出場補助金

◎選手は大体何人いるか。

①申請が上がってきているのは、選手17名と監督、コーチ各1名で、全部で19名分の予算となっている。

◎寄附金をお願いしたいというチラシがあったり、事業所に募金箱があった。足りないのかと思ったが。

①募金箱等を設置しているのは把握している。今対象の事業が選手、コーチ、監督の経費の3分の2という形になっている。

◎選手の自己負担はあるのか。

①全体で363万4,600円、そのうち町からの補助金が263万円、そして

自己負担が100万円ほど、皆さん各ご家庭のほうで負担していただく形である。

◎できれば大人もみんな含めて出しますよという検討していただきたいと思うが。

①いろいろ情報収集しながら、考えていきたい。

■東小グラウンド水道管改修工事

◎甲子園でグラウンドの真ん中にあるようなイメージをするか。

①園地のりんごの枝などに土をかけてしまっているような状況であるので、園地に近いバックネットの方を考えている。

◆要望意見

各種のスポーツ・文化活動において、県代表または東北代表等になり、全国大会出場の際は、出場者の旅費等については全額補助の旅費等を予算措置して下さるよう要望いたします。

決算特別委員会 総括質疑

令和3年度の各会計決算を審議するため、議員全員で構成する決算特別委員会（委員長・三戸玲子議員／副委員長・佐藤文俊議員）を設置し、9月12日・13日の2日間にわたり詳細に審議しました。数多くの質疑がありましたが、その一部を紹介します。※令和3年度各会計決算の詳細については、広報いたやなぎ10月号に掲載されています。



こちらのQRコードから
ご覧いただけます。→

◎民生委員の報酬

■質問 濱名康治委員

この前の災害でも尽力されている。さらに、昨今は物価上昇している。前回は聞いたが、もう少し手厚くできないものか。

▲村上介護福祉課長

報酬は民生児童委員協議会で、町から交付された補助金の中から個人個人に対して現金支給や物品で支給している。3年度までは活動費で年間3万6,000円だったが、4年度からは活動費に500円上乗せて交付している。

■質問 今 浩一委員

支給額が500円上がったと解釈したが、確認したい。

▲村上介護福祉課長

説明が足りなかったかもしれない。活動費については月額に500円上乗し、年間では6,000円の増と、4年度から変更している。

◎イベントの開催

■質問 今 浩一委員

近隣市町村を見ても、このコロナ禍に向き合い、町の考えを示しているが、当町では担当課もしくは各種団体や実行委員会の判断で

開催を決めているというところで、町長の考えがなかなか見えない。町長の考えを伺う。

▲成田町長

ウィズコロナあるいはアフターコロナは考えていく必要があると思う。今後、あくまでも感染状況を見ながら、地域の経済を回していく方向である。また、10月にはまるかじりウォークを開催することで進めている。いろんなイベントを通して地域を活性化していきたい。

◎町の財産収入

■質問 鈴木清孝委員

町有地売却収入112万9,855円について、どの部分を売却して入ったのか。

▲葛西地域整備課長

令和3年度は、件数は5件である。最終的な契約地目は宅地が3件、雑種地として2件である。

■質問 鈴木清孝委員

財産貸付収入滞納繰越で13万5,261円の調定になっている。旧商工会館土地建物使用料の滞納繰越ということだが、どのように交渉して収入が9万円、収入未済が4万5,000円

なのか。

▲大井総務課長

貸していた相手方で弁護士が入り、交渉を続け、令和3年度はこのような収入になっている。令和4年度に全額収入済みである。

■質問 鈴木清孝委員

ふるさとセンター生産果菜等売払代金150万2,186円について、中身的に内訳と前年度と対比してどうなのか伺う。

▲八木橋ふるさとセンター所長

決算額は、前年から比べると5万2,000円ほど増である。コロナ前の平成29年はこの数字が103万2,000円であり、大分増えている。中身的には、りんごが非常に好調である。トマトも増やしているが、伸び悩んでいるような状況である。

■質問 佐藤文俊副委員長

先般、旧沿川第一小学校の2階部分を貸す予定だという話をされたが、2階部分には1階部分を經由して2階に行くと思う。賃借料の計算のときには1階部分を完全に外すのか。

▲大井総務課長

2階部分の教室を貸し付けすることにしているが、賃借料の計算のときにはそ

この教室部分だけ、実際使用する部分だけの計算で行っている。

◎街路灯LED交換・工事

■質問 長内良蔵委員

本年度、昨年度にどれぐらいのところを取り替えたか。また、調査はしているのか。

▲葛西地域整備課長

LED交換工事について、令和元年に10台、令和2年に10台実施している。本年度は5台、さらに設置が1か所で6台の設置となっている。この道路照明灯については、計画的に整備、取替え等を行っていきたいと考えている。

◎道路で亡くなっている小動物の処理

■質問 長内良蔵委員

車にひかれた動物は非常に危険なので、一般の人が手を触れないような何か対策が必要なのではないか。

▲長尾町民生活課長

一般の方々からご連絡いただければ、町民生活課のほうで現場のほうを確認し、対応している。町道は町民生活課、県道であれば県のほうで対応している。

■質問 長内良蔵委員

一般の人ができるだけ触れないようにPRしなければならぬと思うが。

▲成田町長

指摘のように、町民の皆さんがもし発見したら、役場あるいは県道は県でやっているのでもそれぞれのほうに連絡していただく。その辺を町民にはお知らせをして注意を呼びかけたい。

◎板柳町りんご大使事業

■質問 今 浩一委員

板柳町りんご大使事業委託料5万円の内容について伺う。

▲大井総務課長

福士加代子さんにりんご大使に就任していただいた際の委託料である。

■質問 今 浩一委員

りんご大使は、もともとアンバサダーであった。りんご大使の役割、またアンバサダーからりんご大使にした目的は。

▲大井総務課長

りんご大使は元高見盛関に最初に就任していただき、その後、福士加代子さんに就任していただいている。りんご大使は町でイベント等があった場合に二人に参加していただき、町のPR

をしていただく。以前のアンバサダーは日本全国いろいろ、百貨店の方や大学の教授関係など様々なメンバーであった。アンバサダーとして町のいろんな事業にご意見をいただき、りんごの里いたやなぎをよりよくしていくという事業である。

◎基金の積立て

■質問 松森俊逸委員

歳入歳出差引額に関しての感想、所感を。

▲成田町長

歳入歳出差引額4億5,395万1,000円となっている。そして、基金の繰入金3億円となっている。今後のいろんな社会情勢や今後町が予定している事業等を考えた場合、基金3億円は着実に伸ばしていかなければいけないと思っている。今後経費削減や各種事業においても国の有利な補助事業や起債を活用しながら、できるだけ基金に回せるように健全財政に努めていきたい。

■質問 松森俊逸委員

コロナにおける各事業ができないかったための不用額が圧倒的に多いと私は思う。この辺の認識が町長は欠けていると思うが。

▲成田町長

工事の関係でも入札の結果、予算残が出ることもある。また、職員の皆さんも一生懸命頑張って経費削減に努めている。ご指摘のコロナの関係で事業が実施できないと、そういったことも総合的に見て3億円の基金を積立てをすることができたと理解している。

◎果樹共済事業

■質問 成田 肇委員

総合方式に加入されている方はどのくらいいるのか。

▲小枝産業振興課長

令和3年度の実績は5.9%の加入率であった。

■質問 成田 肇委員

人数にすれば、何人ぐらいか。

▲小枝産業振興課長

戸数だと588件の方、面積で703.79ヘクタールが加入している。

■質問 成田 肇委員

加入率を上げる工夫をしていただきたいと思うが。

▲小枝産業振興課長

町ではこれまで、果樹共済の加入者の方に対して加入金に対する補助を行ってきた。併せて、令和4年度からは収入保険、こちらに対する補助も実施してい

る。そちらに加入されている方も増えてきているので、果樹共済の加入率が若干減少した要因ではないかと思う。

■質問 佐藤洋治委員

私有地ではなく占有権という権利でりんご畑を作っている人がいる。占有権がもらえず、果樹共済にも入れない人を把握しているか。

▲小枝産業振興課長

いわゆる官地で栽培している方のことだと思ふ。官地では農地台帳が存在しない。そのため面積は把握できていないのが現状である。ただし、本人から申請された面積の積み重ねをすると、面積をつかむことは可能である。

■質問 佐藤洋治委員

きめ細かい対応をするためにも情報をきちんとチェックしておく必要があると思うが。

▲成田町長

制度の改善ということも必要だと思ふ。今後機会を捉えて農業共済組合や国、県のほうに要望していきたい。

板柳町議会

不当要求行為調査

特別委員会報告

第11回定例会での鈴木清孝委員長の報告内容です。

不当要求行為調査特別委員会を昨日9月13日、午後2時30分から約2時間にわたり議員控室において開催いたしました。会議は、案件を5月6日に開催した会議の内容を踏まえまして当委員会が行政側に再考を求めた件についてでありました。町不当要求行為等防止対策委員会の委員長である村上副町長及び副委員長の、大井総務課長の列席の下、前回の委員会報告での、委員会としてどういふふうに対処するかは考えてみるのと、ことでありましたが、町側は再考はしていないし、また委員会も開催していないとの一点張り、議論は平行線のままでありました。結論として当委員会としては、委員全員の総意として町に対し、板柳町不当要求行為等の防止に関する要綱第8条「必要に応じて警察等の関係機関に通報しなければならぬ」との条項を適用することを求めることにも、町民の不利益にならないよう、公平、公正な入札執行及び最低制限価格制度の改善を求めることとして、閉会をいたしました。

一目で分かる審議結果

○全会一致の議案

◆第11回定例会（令和4年9月）

議案番号	議案	結果
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて	全員承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて	全員承認
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて	全員承認
同意第1号	板柳町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員同意
議案第6号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全員可決
議案第7号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全員可決
議案第8号	町道の路線廃止について	全員可決
議案第9号	町道の路線認定について	全員可決
議案第10号	弘前地区交通安全対策会議への加入について	全員可決
議案第11号	板柳町防災会議条例の一部改正について	全員可決
議案第12号	令和4年度板柳町一般会計補正予算（第5号）	否決
議案第13号	令和4年度板柳町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	全員可決
議案第14号	令和4年度板柳町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全員可決
議案第15号	令和4年度板柳町介護保険特別会計補正予算（第1号）	全員可決
議案第16号	令和4年度板柳町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	全員可決
議案第17号	令和4年度板柳町水道事業会計補正予算（第1号）	全員可決
議案第18号	令和4年度板柳町公共下水道事業会計補正予算（第1号）	全員可決
議案第19号	板柳町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	全員可決
認定第1~8号	令和3年度各会計決算の認定	全員認定
報告第3号	令和3年度板柳町健全化判断比率の報告について	報告のみ
報告第4号	令和3年度板柳町資金不足比率の報告について	報告のみ
報告第5号	一般財団法人板柳町産業振興公社りんごワーク研究所経営状況の報告について	報告のみ

○賛否の分かれた議案

◆第11回定例会（令和4年9月）

議案	氏名											結果
	工藤 貢	濱名 康治	佐藤 文俊	鈴木 清孝	松森 俊逸	今 浩一	葛西 幸男	長内 良蔵	成田 肇	三戸 玲子		
議案第12号 令和4年度板柳町一般会計補正予算（第5号）	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	賛成4人 否決	

※定例会及び臨時会については、広報いたやなぎにも掲載されています。



令和4年度板柳町一般会計補正予算（第5号）（議案第12号）

反対討論 今 浩一議員（令政会）

この補正予算には、バーベキュー施設建設に関わる事業費として、土地購入費及び用地測量業務委託料合わせて1,108万円が計上されています。バーベキュー施設に関しては、3月議会において、今年度当初予算案に議会と合意形成となっていないものが計上され、一度否決されました。町ではこの結果を踏まえ、当初予算案を一度取り下げ、バーベキュー施設に関しては、附帯決議を真摯に受け止め、議会の要望については真摯に対応していきたいと説明した上で、バーベキュー施設予算案を削除した修正案を提出しました。町長の言葉を信用し、その修正案には全議員が賛成しましたが、3月から今まで何の進展もないまま、また合意形成となっていないものが本補正予算案に予算が計上されました。3月議会での町長の言葉は一体何だったのでしょうか。

しかも今回の案は、新たにわざわざ土地を購入した上でこの施設を建設するといったものです。ふるさとセンター内にはバーベキュー施設を建設する十分なスペースがあるのに、貴重な町の財源を使い、わざわざ土地を購入するといった考えには賛成できるものではありません。

ふるさとセンター内を総合的に考えると、イベント広場にも接し、トイレも近く、車の進入も制限でき、利用者の安全面にも考慮できる元の場所が最適な場所だと、令政会及び無所属議員は当初から訴え、附帯決議を提出し可決されましたが、町では近くに危険施設があると言って、元の場所での協議さえ拒み、3年が過ぎました。

町が言う危険施設とは、電気設備である「キュービクル」及び「青柳館温泉排ガス噴出管」がある場所を指していますが、これらの施設は法的に安全基準を満たしている安全施設です。行政側が法的に安全基準を満たしているものをあえて危険施設と主張してでも、これを理由に議会と具体的な協議を拒み、町の財源を必要以上に使っても建設しようとする考えは、とても理解できないことから、反対です。

あえて言わせていただきますが、ふるさとセンターは多くの町民はじめ観光客の方々が利用しています。まるかじりウオークや雪まつりなど、各種イベント等も開催されている場所です。法的に安全基準を満たし、安全確保している施設を行政側が危険施設があると主張するのは、多くの方々に間違った不安を与えるもので、風評被害を招き、多くのものに悪影響を与えるおそれがありますので、やめていただきたい。全議員が早期建設に賛成している案件ですので、町としては真摯に対応していただきたいと思えます。また、今回の

補正予算は、歳入歳出それぞれ3億7,974万3,000円を追加するものです。まだまだコロナ禍の影響が深刻な方々、業種の方々が大勢いる中で、予算が余ったと言って追加補正予算総額の65.76%に当たる2億4,972万7,000円を町の基金、貯金とする今回の補正予算の考え方に疑問を感じます。ウィズコロナ、アフターコロナについて補正予算で対応していくと言いつつ、何も町の考えが見えてこないこの補正予算には賛成できません。

当町の現状を的確に把握し、町民のためとなる適正な補正予算案としていただきたいと申し上げ、反対討論を終わります。

賛成討論 長内良蔵議員（公正会）

議案第12号令和4年度板柳町一般会計補正予算（第5号）の補正予算は、町民生活や子育て世帯に直結する極めて重要な予算となっております。新型コロナウイルス感染症対策として、町民の健康と命を守るためのワクチン接種の費用をはじめ、児童1人当たり一律2万5,000円の支給の子育て世帯臨時特別給付金のほか、北小学校の難聴特別支援教室改修工事費など、いずれも喫緊の課題に対応する予算が計上されております。

また、今回の補正予算にはふるさとセンターのバーベキュー施設整備に関わる関係予算が計上されております。バーベキュー施設は、町民の皆様にとって大切な交遊の場であり、町の拠点施設であるふるさとセンターの活性化につながる施設でもあります。町では、これまで整備計画を提示し、議会と協議を重ねてまいりましたが、議員の意見が分かれており、残念ながら整備が進んでいない状況にあります。バーベキュー施設は、令和元年10月末に中止してから約3年が経過しております。町民の皆様は、安心、安全で快適な空間を楽しめるバーベキュー施設の一日も早い整備を望んでおります。

よって、議案第12号令和4年度板柳町一般会計補正予算（第5号）の補正予算に対して賛成の立場での討論といたします。

いたやなぎ町議会だより 「夢追人」を募集しています！

内 容：表紙写真の掲載
町内在住、男女年齢・個人団体問わず。
大人の方でも大歓迎!!

募集期間：随時募集

選考方法：議会だより編集特別委員会で審査を行い、選出します。

問 合 せ：板柳町議会事務局

視察・研修レポート

西北津軽郡町議会議長会 青森県知事講演会



令和4年7月22日（金）

板柳町多目的ホール「あぶる」

三村申吾青森県知事を招き、「攻めの農林水産業」をテーマにご講演いただきました。西北津軽郡町議会の全議員を対象に開催され、多くの議員が参加しました。

全国町村議会議長会 町村議会広報研修会



令和4年9月20日（火）

シェンバツハ・サボー（東京都）

参加者：今 浩一委員長、葛西幸男副委員長、工藤 貢委員
日頃から広報紙に深く携わっている3名の講師から、これからの持続可能な議会広報作りの考え方や、“伝える”広報紙作成のポイントについて研修しました。

議会の動き（7月～9月）

開催日	会議等名	開催日	会議等名
7月	11日 議会だより編集特別委員会	8月	25日 議案説明会
	13日 町例月出納検査（監査）		30日 議会運営委員会
	〃 県下町村議会議員研修会	9月	5日 本会議（定例会日程・町長の提案理由等）
	14日 津軽広域連合議会臨時会		〃 議員全員協議会
	〃 弘前地区消防事務組合議会臨時会		8日 本会議（一般質問）
	〃 弘前地区環境整備事務組合議会臨時会		9日 総務産業厚生常任委員会
	22日 西北津軽郡町議会議長会「青森県知事講演会」		〃 福祉建設文教常任委員会
	27日 議会だより編集特別委員会		12日 決算特別委員会
〃 議会運営委員会	13日 決算特別委員会		
8月	1日 西北津軽郡町議会議長会第1回協議会		〃 不当要求行為調査特別委員会
	4日 岩木川増水被害状況現地視察（総務産業厚生常任委員会）	14日 本会議（委員長報告、採決、閉会）	
	〃 総務産業厚生常任委員会	〃 議員全員協議会	
	5日 町例月出納検査（監査）	15日 町例月出納検査（監査）	
	12日 岩木川増水被害状況現地視察（議員全員）	20日 町村議会広報研修会	
	〃 議員全員協議会	28日 青森県町村議会議長会理事会	
	18日 議員全員協議会		

編集後記

朝晩めっきり涼しくなりました。この季節になると温かい食べ物が欲しくなります。

皆さん、ラーメンは塩、味噌、醤油、豚骨のどの味がお好みですか？

私は今、塩ラーメンにハマっています。

皆さん是非、松橋さんのラーメン店へ足を運んでみて下さい！

（塩ラーメンが旨い！）

（委員 工藤 貢）

【発行責任者】

議長 佐藤 洋治

※第36号発行予定は2月10日頃です。議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。

板柳町議会 YouTube チャンネル 近日公開予定!